

平成 30 年度島根県学力調査

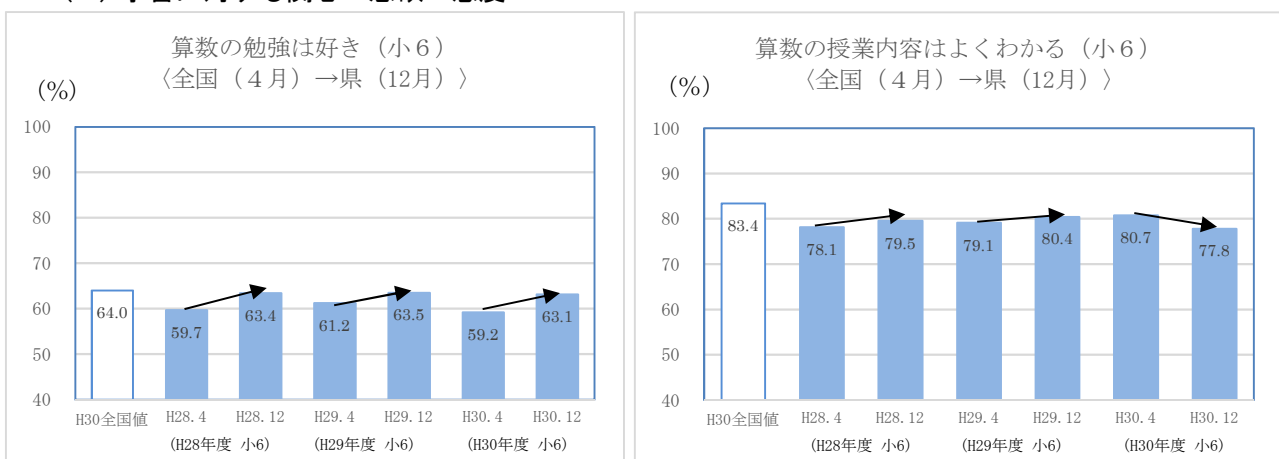
生活・学習に関する意識調査結果概要

1 生活・学習に関する意識調査結果概要

- 学習に対する関心・意欲・態度
 - ・「算数の勉強は好き」について肯定的な回答をした児童の割合は、今年度の全国調査時には伸び悩んでいた。4月の全国調査時よりも12月の県調査時の割合が増え、昨年度並み（H29.12）の数値となり、本年度の全国並みの数値となった。
 - ・「数学（算数）の授業で問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える」「数学（算数）の問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える」についての肯定的回答は、学年が上がるにつれ下がる傾向にある。
 - ・「外国語（英語）の勉強は好き」について肯定的な回答をした児童生徒の割合は、学年が上がるにつれて下がる傾向にある。
- 授業改善の状況
 - ・「授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていると思う」や「授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていると思う」について、肯定的な回答をした児童生徒の割合が増え、全国値を上回る状況である。
 - ・「児童生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」について肯定的に回答した割合が、上昇してきている。
 - ・『総合的な学習の時間』では、集めた情報を課題に沿って整理して考え、発表する学習に取り組んでいる」について肯定的に回答した児童生徒の割合が増えてきており、全国値を上回っている。
- 学習習慣
 - ・平日に授業以外に1時間以上勉強する割合について、特に中学生で低い状況が改善されていない。
- メディア利用
 - ・「普段、1日あたり1時間以上携帯電話やスマートフォンを使う児童生徒の割合」は、年齢が上がるほど割合が大きくなっている。
 - ・「普段、1日あたり1時間以上テレビゲームをする児童生徒の割合」は、小5～中2まで学年にかかわらず、約半数にのぼっている。

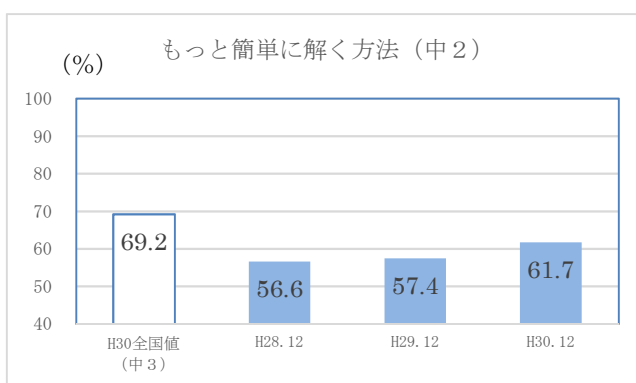
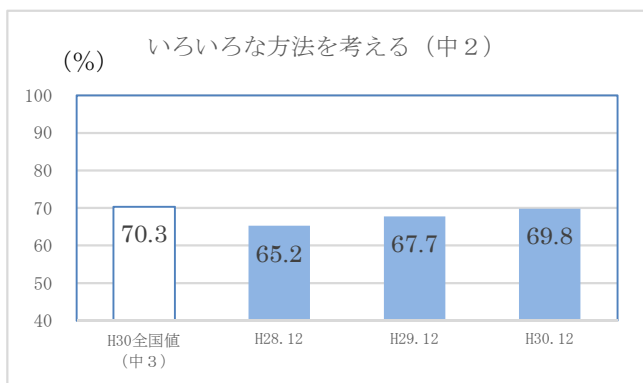
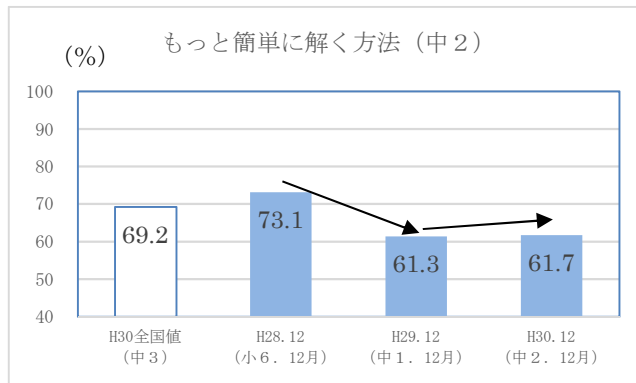
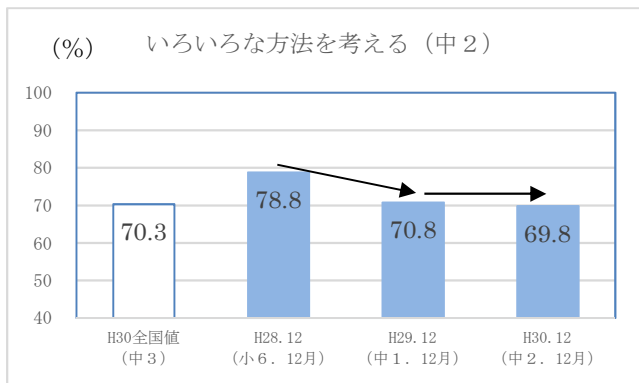
2 全国学力・学習状況調査で特に課題がみられた項目の状況（小6と中2を中心に）

（1）学習に対する関心・意欲・態度



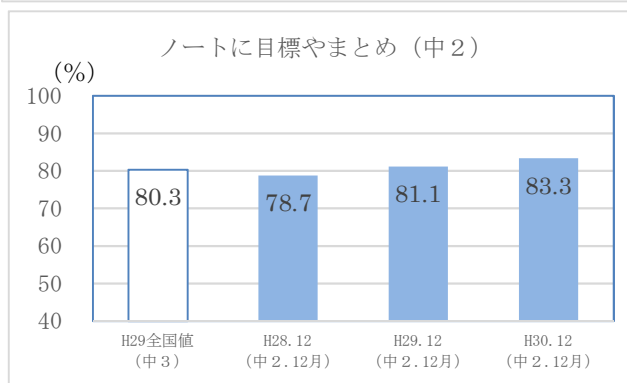
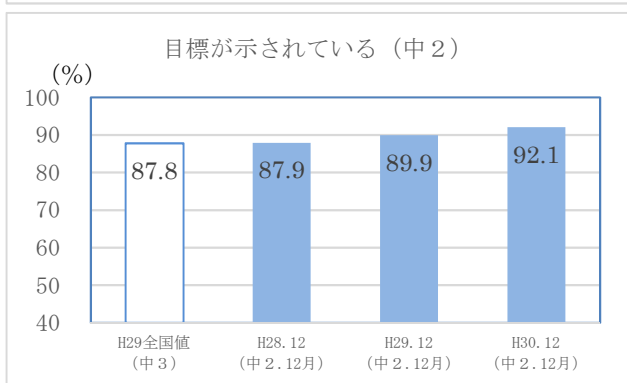
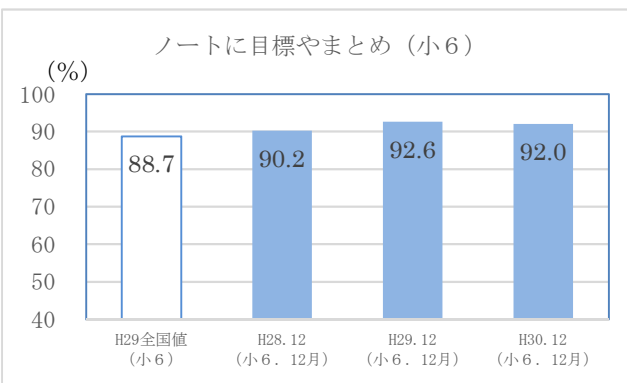
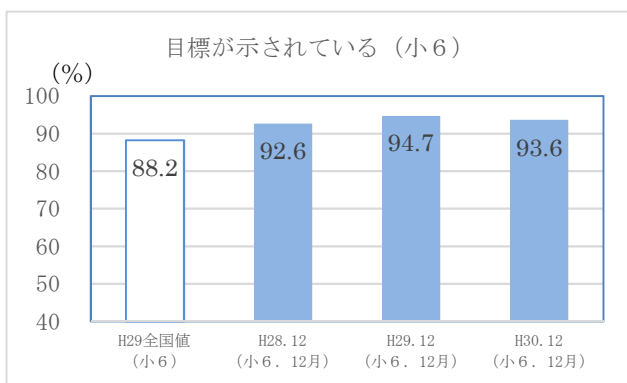
小6の「算数の勉強は好き」の肯定的な回答率が63.1%であり、4月の全国調査時より3.9ポイント上昇し、全国値との差が0.9ポイント差に縮まっている。「算数の授業内容はよくわかる」の肯定的な回答率が77.8%で全国値を5.6ポイント下回っている。

4月の全国調査時よりも12月の県調査時の方が肯定的な回答率が上昇するという傾向が過去3年間にわたり続いている。また、「算数の勉強は好き」が平成29年4月の全国調査時の61.2%から平成30年度には59.2%と下がったが、今回の調査では昨年度並みになった。

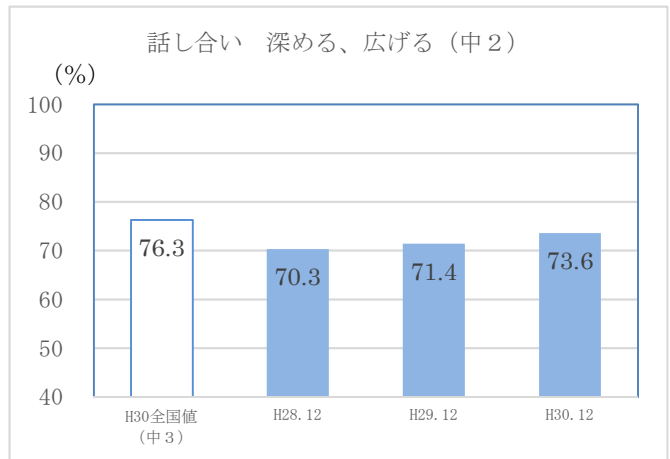
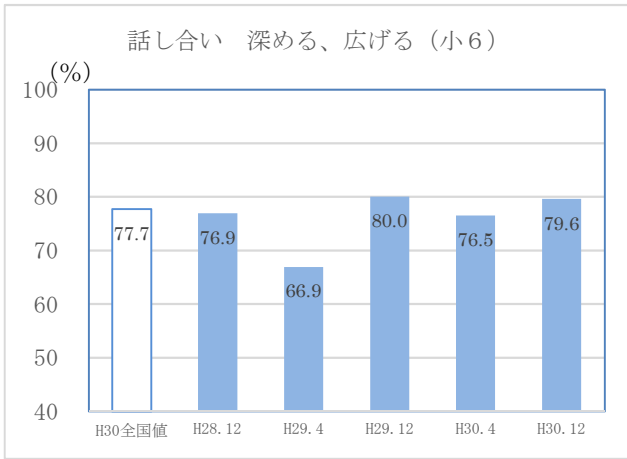


中2の「数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える」「数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える」について、小6・中1の調査時と比較して、肯定的な回答率が下がっている。中学校2年時の数値を過去2年と比較すると肯定的な回答の割合は増加している。

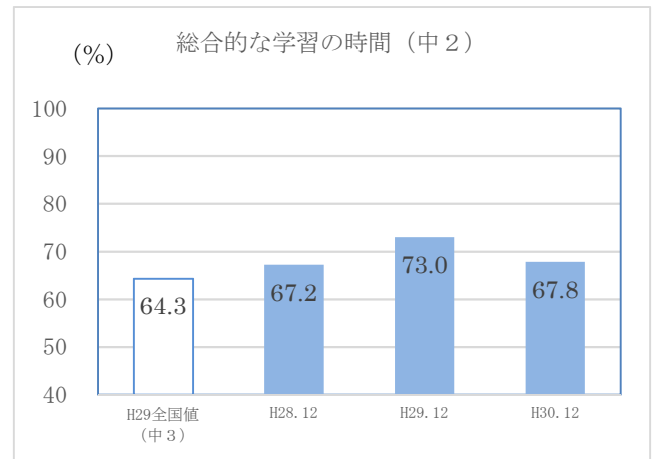
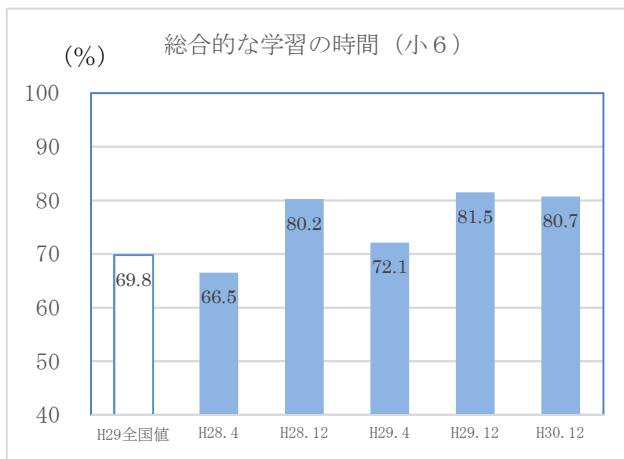
(2) 授業改善の状況



「授業の中で目標 (めあて・ねらい) が示されていると思う」や「授業で扱うノートには、学習の目標 (めあて・ねらい) とまとめを書いていると思う」について、肯定的な回答をした児童生徒の割合が増え、全国値を上回る状況である。

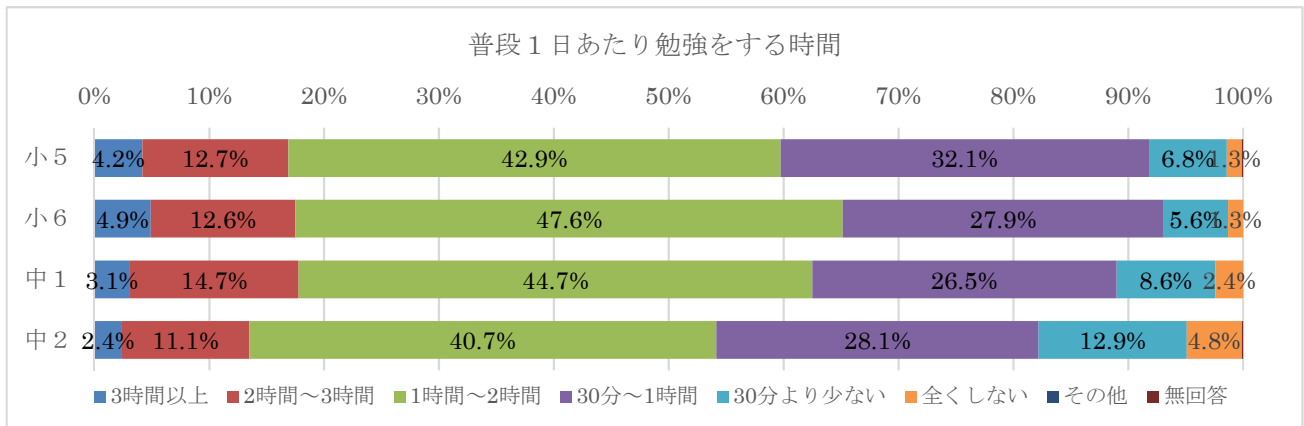
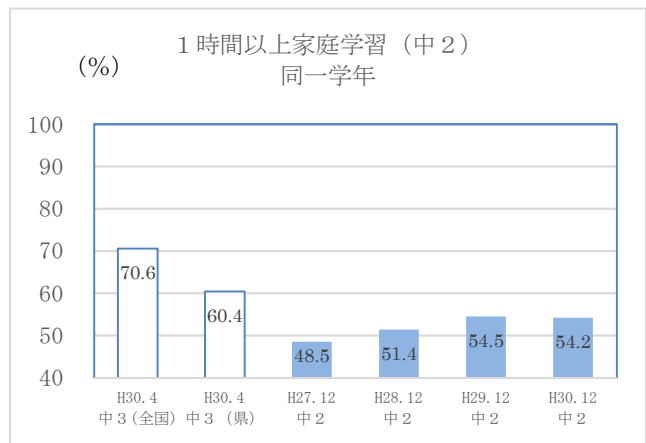
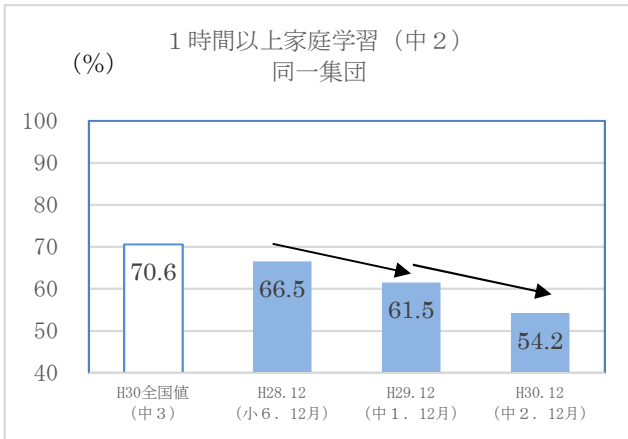


「児童生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」について、肯定的な回答率が上昇してきている。



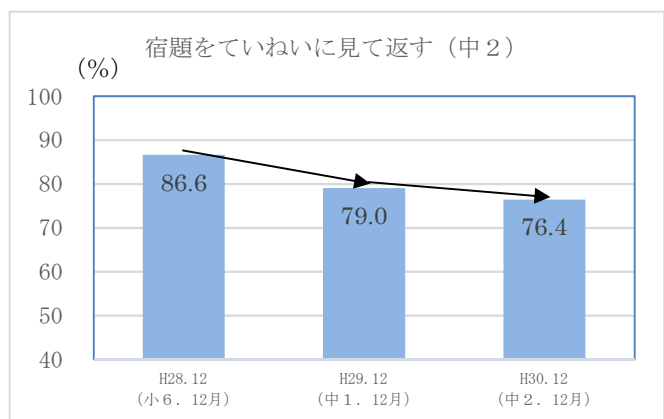
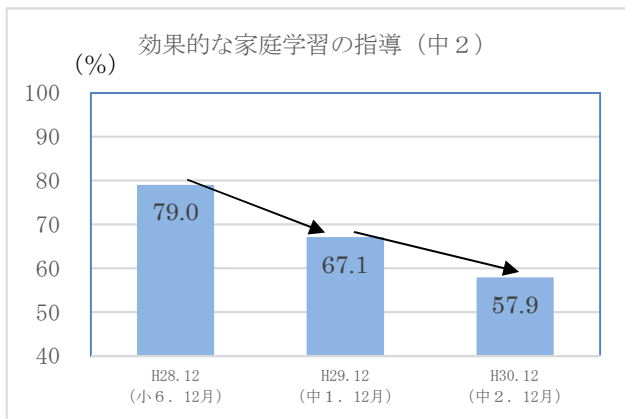
『総合的な学習の時間』では、集めた情報を課題に沿って整理して考え、発表する学習に取り組んでいる」について肯定的な回答率が全国値を上回っている。

(3) 学習習慣



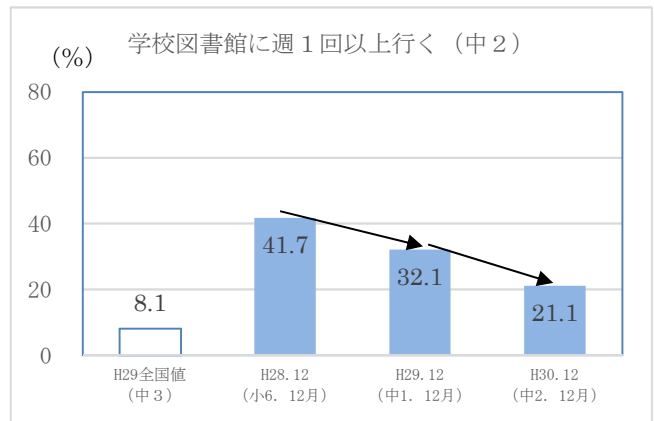
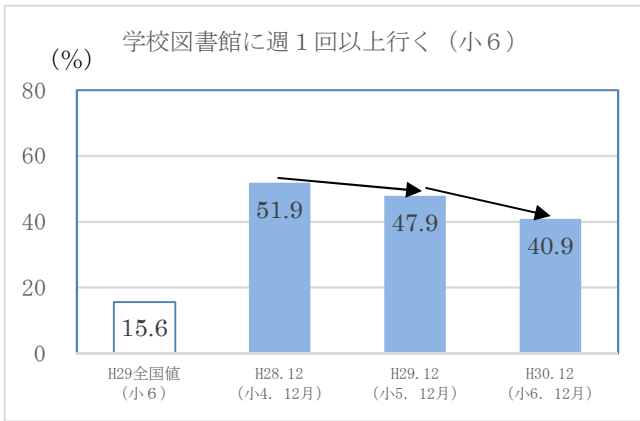
中2について、学校の授業以外に1時間以上学習する生徒の割合は、同一集団を追いかけると小6の12月、中1の12月、中2の12月と徐々に下がっている。中2の12月時点での家庭学習時間は、現在の中3の4月より割合が低く、引き続き課題がある。

(※ 現在の中3について、昨年度12月調査では54.5%、今年度4月全国調査時は60.4%)

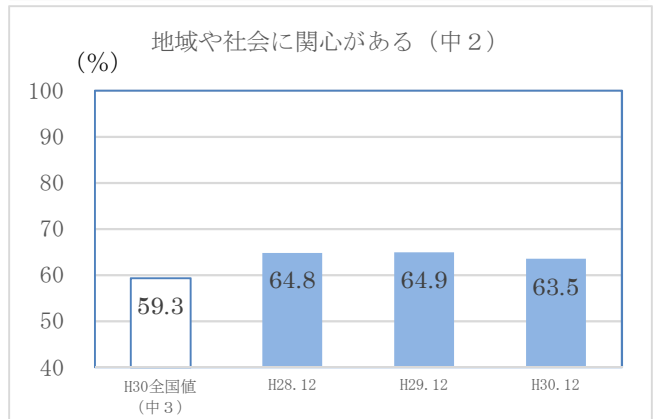
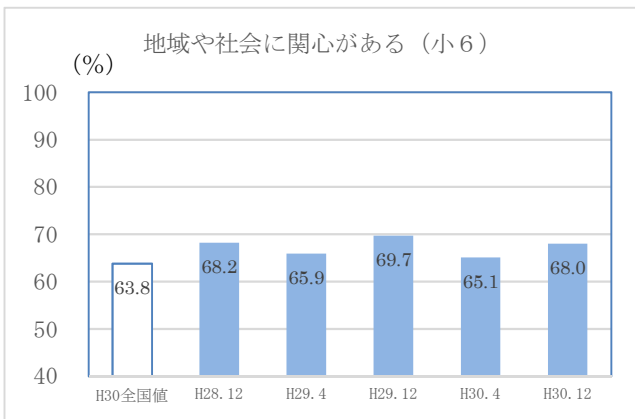
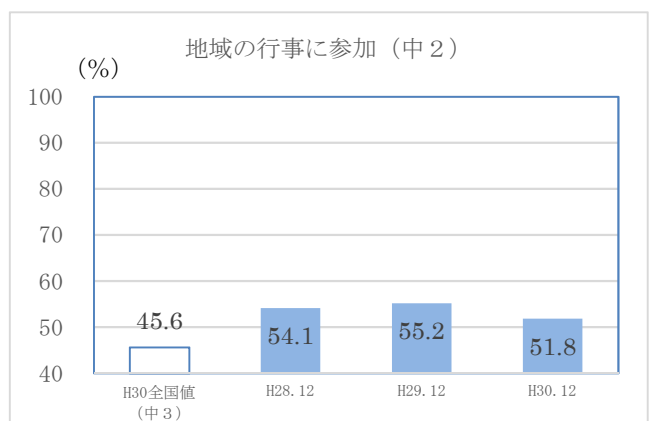
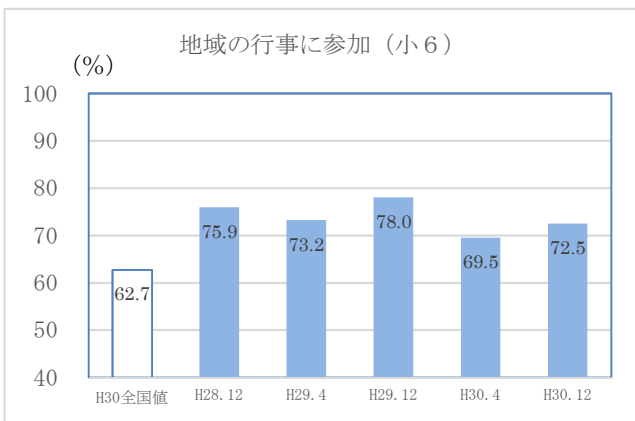


「先生は効果的な家庭学習の仕方について指導してくれる」「先生はやってきた宿題をていねいに見て返してくれる」の肯定的な回答率が、小学校時には高い割合を示しているが、中学校では学年が上がるにつれて下降する傾向にある。中学校において、これまで以上に家庭学習の仕方について改めて指導したり、丁寧に宿題をみたりする必要がある。

(4) その他の状況



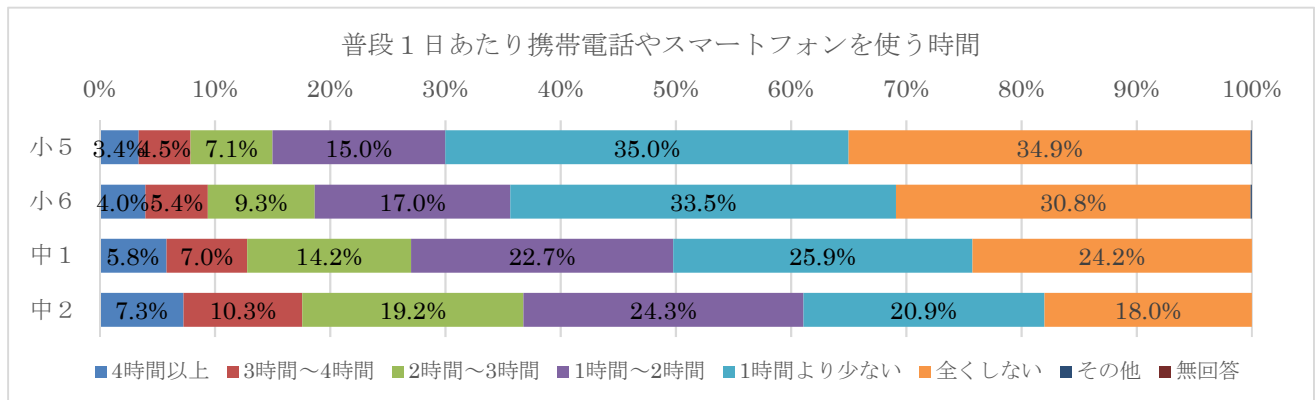
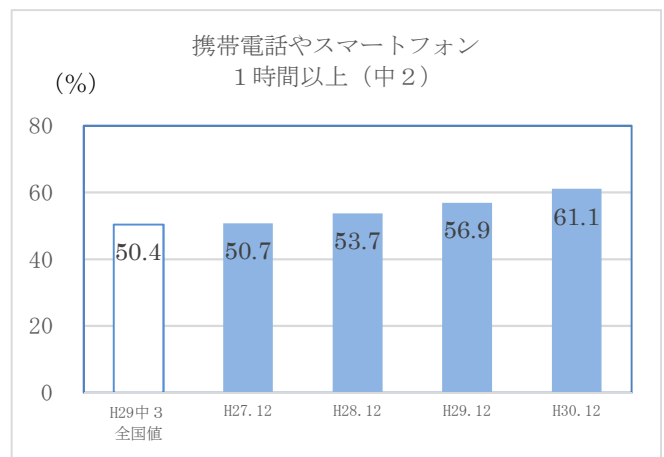
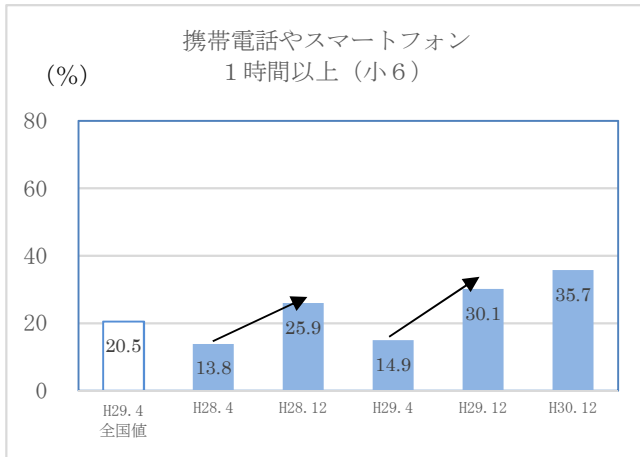
「読書は好きだ」と回答した児童生徒の割合は、全国並みである。「授業以外で、本を読んだり借りたりするために、学校図書館にどれくらい行くか」について、週に1回以上と回答した割合は、全国を上回っている。各学校で人のいる学校図書館が実現し、児童生徒に良い影響が出ている。



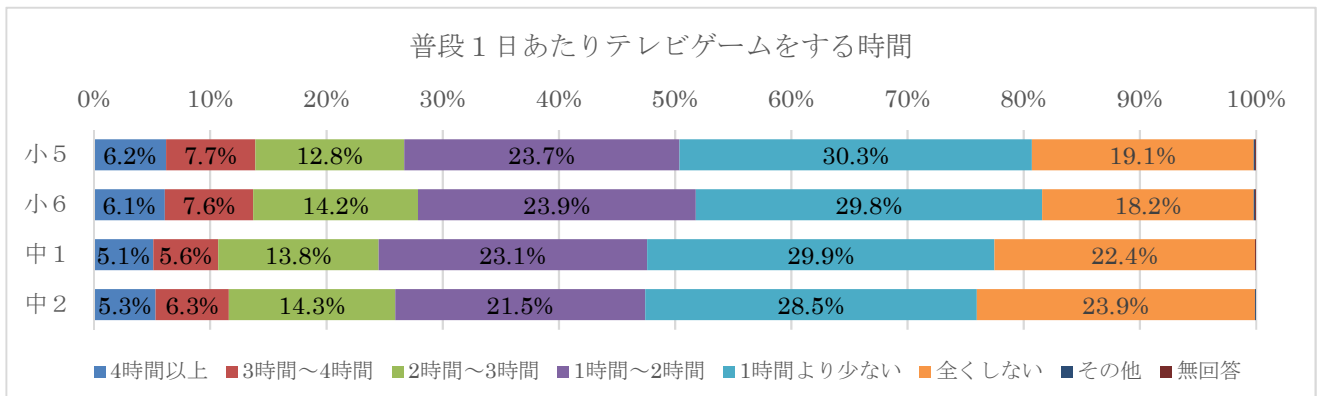
「今住んでいる地域の行事に参加している」児童生徒の割合は、小6の肯定的回答率は72.5% (小6全国平均62.7%)、中2の肯定的回答率は51.8% (中3全国平均45.6%)で、全国平均と比較すると高い状況にある。

「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」児童生徒の割合は、全国値を上回っている。各校でのふるさと教育の取組が着実に成果につながっている。

3 メディア利用の状況



「普段、1日あたり1時間以上携帯電話やスマートフォンを使う児童生徒の割合」は、年齢が上がるほど割合が大きくなっている。



「普段、1日あたり1時間以上テレビゲームをする児童生徒の割合 (スマートフォンのゲームも含む)」は、小6～中2まで学年にかかわらず、約半数にのぼっている。

メディア利用の在り方についても、家庭や地域と協力しながら引き続き指導していく必要がある。